

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

紅豚プラセンタ等を活用した新しい加工商品の開発と地元農家との連携

連携体

農林漁業者

養豚集団がんにゅう ※任意団体

紅豚の出産の際に、これまでは廃棄していた胎盤を衛生的に一次処理・冷凍し、(株)がんにゅうがプラセンタを抽出し加工食品を開発する原材料として提供する。

中小企業者

(株)がんにゅう(法人番号6360001009536) (食料品製造業)

美容に良いと言われているプラセンタを、専属農家のみから仕入れた胎盤から抽出しソーセージなどの加工食品の原料として活用し、健康や美容に関心のある中高年女性を主なターゲットに販路拡大を図る。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所

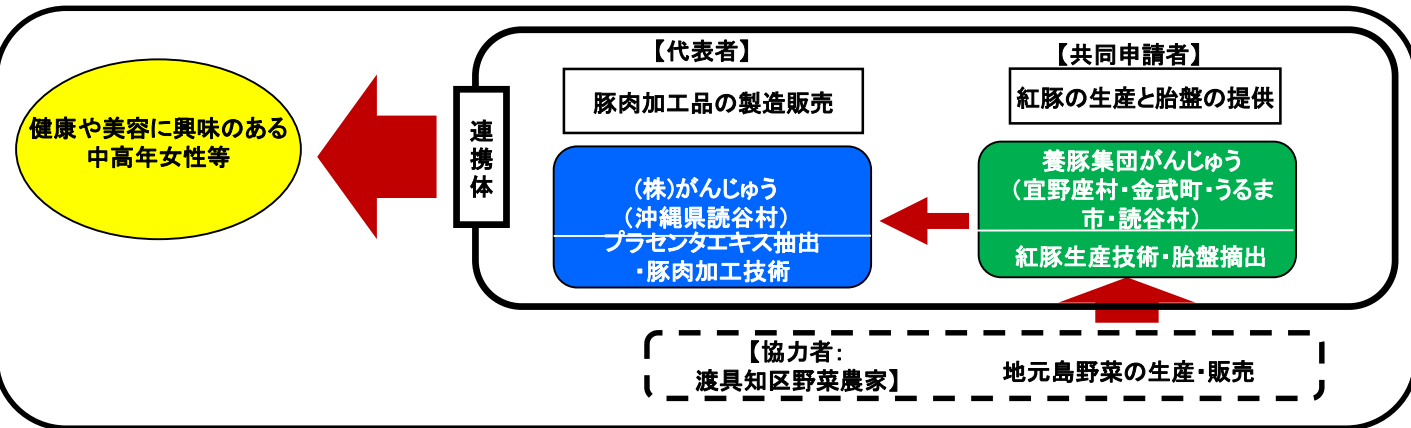
連携の経緯

・「紅豚」は、専属養豚業者が出産から出荷まですべて行い、(株)がんにゅうが全量買取り加工・出荷している。本事業では、胎盤から採れるプラセンタエキスを専用の加工工場にてソーセージなどに加工製品化、紅豚のブランド力を強化する。

連携に当たっての課題や工夫等

プラセンタは、養豚集団がんにゅうの農家から産出される胎盤のみを使用し、新規建設した専用加工場でエキスを抽出しソーセージなどに使活用する。また、地元の読谷村渡具知区の農家からも島野菜などを仕入れ、加工品に配合し付加価値を高め販売する。

プラセンタは化粧品原材料としても需要があり、安心安全な国内産原料として開発販売する。



連携による効果

農林漁業者

5年で 2,000万円の売上高増加

捨てていた胎盤からも収益が得られるだけでなく、枝肉だけであった紅豚の高付加価値の加工食品が市場化されることでブランド力が強化され、出荷単価の向上も期待できる。

中小企業者

5年で5,500万円の売上高増加、700万円の収益性の改善

骨粗鬆症予防目的の機能性食品に向けた事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社がんにゅう
 TEL : 098-957-2929
 E-mail : tsutomu_nakasone@benibuta.co.jp

所在地 : 沖縄県中頭郡読谷村伊良皆225番地
 FAX : 098-957-2986
 ホームページ : <http://www.benibuta.co.jp>